

堅磐河道掘削事業における河川環境を維持する取り組みとその事業効果について

Keywords : 流下能力の確保、貴重種、特定植物の保全、分水路計画

●河道掘削前(平成21年2月撮影)



●河道掘削後(令和2年2月撮影)



里川合流の影響で流下能力が不足している堅磐地区は感潮域であることに加え、サギ類のコロニーとアユの産卵床があるため、これらを保全しつつ、流況を変えない工事の必要があった。本事業では委員会を設立し、モニタリング調査等から河川環境保全のための助言をもらいつつ河道掘削により分水路を整備する工事を実施した。